

# 歩き・話す「象徴天皇」

— メディアで広がる「代替わり」 —

—第54回 なくせ！建国記念の日・許すな！靖国国営化 2.11 東京集会—

神話むき出しの代替わり儀式、憲法の定めなしの「公的？」行為  
いつの間にやら定着した天皇の全国訪問  
どこで道を間違ったか？戦後の日本！



講師：吉馴 明子（よしなれ あきこ）さん

恵泉女学園大学名誉教授、東京恩寵教会会員

日本政治思想史専攻

著書：『海老名弾正の政治思想』（東京大学出版会）

『現人神から大衆天皇制へ』（編著）（刀水書房）

日時：2020年2月11日（火）  
14:00～16:00（開場 13:30）  
（終了後デモ）

★会場費：800円、大学生400円

（高校生以下無料）

★場所：在日本韓国YMCA アジア青少年センター  
スペースワイホール(地下)

JR水道橋駅徒歩6分、地下鉄神保町駅徒歩7分

## 講師からの一言

「行幸」は、国民による天皇の承認  
なのではないでしょうか？

生前「退位」は、天皇自身による  
「退位」の決断だったはずですよ。

しかし、それでも「皇統連綿」と  
いう神話的天皇観が覆えりませんで  
した。逆に、政府が人工的に式典を  
くみ上げ、「令和」への元号の変化  
が「時代を画する」印象を演出した  
のです。さらに、メディアで報じら  
れる代替わりの「伝統」的行事は、  
天皇制が神道と不可分であることを  
国民に強く印象づけたものとなって  
しまいました。



主催：2.11 東京集会実行委員会 後援：日本キリスト教協議会(NCC) 靖国神社問題委員会

集会賛同金にご協力をお願いします。

個人 一口 1,000円/団体 一口 3,000円 振込先(郵便振替) 00140-4-75776 2.11 東京集会実行委員会